

吉田高校生が目指す6つの力

- ①主体性：様々な学びへの興味・関心を持ち、自分の意志や判断によって、自ら責任を持って行動する態度
 ②行動力：挑戦する意欲と粘り強く誠実な態度で、地域や社会に貢献しようと行動する力
 ③探究力：適切な問いを立て、掘り下げることで、本質を見極めようとする力
 ④コミュニケーション力：他者との円滑な意思の疎通ができ、互いに協力し助け合いながら、物事をやりとげる力
 ⑤判断力：真偽や善悪を正しく判断し、自分のすべきことを見極める力
 ⑥表現力：柔軟な発想で新しい価値を見出し、自分の思いや考えを、他者にわかりやすく発信する力

評価表（どのレベルまで到達できたか）

	①主体性	②行動力	③探究力	④コミュニケーション力	⑤判断力	⑥表現力
レベル1 未熟	課題に対して興味関心を持って取り組むことができなかった。	常に受身でしか問題に対応できず、課題に取り組む意識が希薄であった。	わからない事柄が不明瞭であり、解決しようとする努力が足りなかった。	何事にも消極的で、他者と協力し合おうという意識が希薄であった。	何事にも興味関心を持たず、自分で判断しようとする意識が希薄であった。	自分の考えが持てなかったり、持っていた相手にも相手に伝えようとする努力が足りなかった。
レベル2 前進	課題に対して興味や関心を持って取り組むことができた。	興味関心を持って課題解決に向かい、よりよい解答を見つけたいという意欲が持てた。	わからない事柄を調べたり、質問したりすることで、わかろうと努力できた。	相手の考えや思いを汲み取り、尊重しながら、円滑な意思の疎通を図ることができた。	場面に応じて、適切な自己判断ができるように努力することができた。	活動中、一回以上発言し、自分の考えを相手に伝えようとする努力ができた。
レベル3 標準	課題に対して最後まで意欲を失わずに取り組み、知識やスキルを獲得できた。	地域や社会に貢献したいという意欲を持って、行動することができた。	わからない事柄を自分で調べたり、進んで質問することで、理解することができた。	互いに協力し合って問題解決に向かい、よりよい解答を見つけることができた。	自己のすべきことや、期待されていることを的確に判断し、適切に行動することができた。	自分の考えを持ち、それを相手にわかるように工夫しながら伝えることができた。
レベル4 発展	課題解決の過程で生じる様々な障害や疑問に対しても、最後まで粘り強く取り組み、知識やスキルを定着することができた。	解決が困難な課題に対しても、進んで改善策を考えたり、粘り強く行動する態度が身についた。	より深い理解を得るために必要な問いを自分で立てることができ、粘り強く掘り下げることができた。	一方の意見だけでなく違う意見にも耳を傾け、その上で説得したり反論したりしながら結論をまとめることができた。	真偽や善悪を正しく判断し行動するための知識を身に付けたり、視野を広げたりすることができた。	既成の価値観にとらわれず、柔軟な発想と独自の観点から新しい価値を創造し、それを発進することができた。
レベル5 最高	課題に対して納得できる解答に至り、知識やスキルを定着させるとともに、能力の向上をさらに追究した。	目的を見据え、取り組むべき課題を自ら発見し、自分のなすべき仕事をやり遂げて、地域や社会に貢献できた。	真偽を見極めるための適切な問いを自分で立てることができ、粘り強く掘り下げることで、理解を深めることができた。	対立する意見や複数の立場を考慮した上で、それらを統合・進化させた発見的結論へと、理解や解答の質を高めることができた。	蓄積した知識や経験・技能等に基づき、真偽や善悪を正しく判断し、そこから物事の本質を見極め、適切な判断を下すことができるようになった。	柔軟な発想で新しい価値を見出し、そこに込めた自分の思いや考えを、正確で効果的に発進し、共感を得ることができた。